

## 別表3（許可の基準）の解説

### I-1 用語の定義

- 1 禁止地域 条例第5条各号に掲げる地域等をいう。
- 2 許可地域 禁止地域以外の地域をいう。
- 3 禁止物件 条例第6条第1項に規定する物件をいう。
- 4 自家用広告物 条例第10条第2項第1項に規定する広告物等をいう。
- 5 管理用広告物 自己の管理する土地又は物件に管理上の必要に基づき表示する広告物等をいう。
- 6 1事業所等 自己の住所又は事業所、営業所若しくは作業場をいう。
- 7 主要地方道 松山伊予線、松山空港線、松山港線、松山北条線、伊予松山港線、伊予川内線、松山港内宮線、松山東部環状線、北条玉川線及び中島環状線をいう。
- 8 鉄道等 鉄道、軌道及び索道をいう。

### I-2 許可地域における許可の基準（別表3 第1の解説）

[ 条例第7条、第13条第1項及び第14条第1項の基準 ]

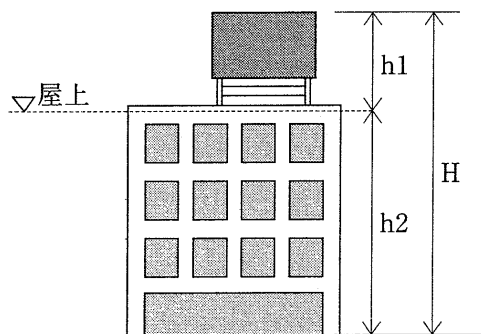
#### 1 共通基準

(省 略)

#### 2 個別基準

##### (1) 建物利用広告物

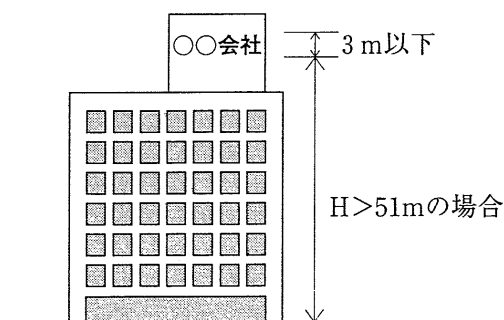
##### (a) 屋上広告物



- ① 上端の高さ  $H \leq 51\text{m}$
- ②  $h1 \leq 15\text{m}$  かつ  $h1 \leq h2 \times 2/3$   
ただし、 $h2$ ；地上から広告物等を設置する箇所までの高さ
- ③ 表示方法；建築物の壁面の延長面から突き出さないこと。

※自家用で次の総てに該当するものは①の制限なし

- 屋上構造物の壁面に文字、数字又は商標を縦3m以下の箱文字により表示していること。
- ネオン管を使用していないこと。
- 広告物の照明は、点滅しないこと。
- 高さの限度 ( $H = 51\text{m}$ ) を超えて表示する広告物等が1壁面に1個であること。

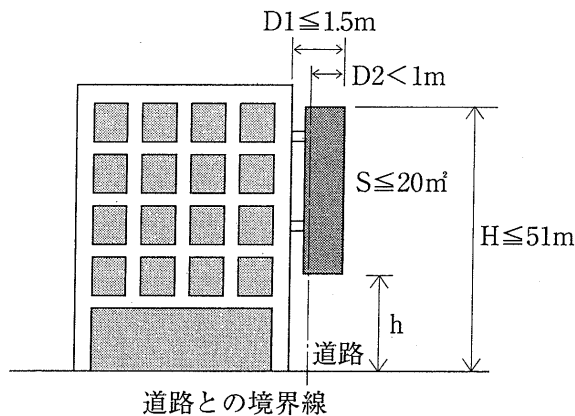


(注1) 塔状の形状は避け、建物の外観と一体化するように努めること。

(注2) 建物の壁面と屋上の構造物の壁面の双方にまたがって表示される広告物等は、屋上広告物の基準を満たすとともに、壁面広告物の基準（1壁面の利用割合限度など）も満たすこと。

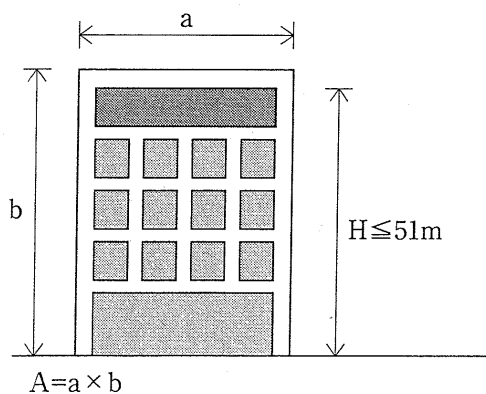
(注3) 支柱及び骨組みが露出しないように努めること。

### (b) 突出し広告物



- ① 表示面積  $S \leq 20\text{m}^2$  (1面当たり)
- ② 上端の高さ  $H \leq 51\text{m}$
- ③ 数量；1壁面に2列以下。
  - $0.5\text{m}^2$  (1面当たり) 以下のものについては、この限りでない。
  - 同じ列に設置するものは、その出幅が同じであること。
- ④ 壁面からの出幅  $D1 \leq 1.5\text{m}$
- ⑤ 道路境界線からの出幅  $D2 < 1\text{m}$
- ⑥ 歩車道の区別のある道路の歩道上  $h \geq 2.5\text{m}$   
歩車道の区別のない道路上  $h \geq 4.5\text{m}$
- ⑦ 表示方法；建築物の上端から突き出さないこと。

### (c) 壁面広告物



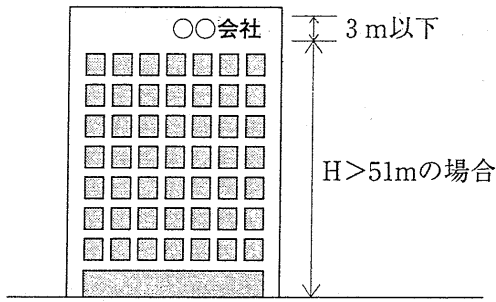
- ① 1壁面の利用割合限度

$A < 100\text{m}^2$	$s \leq 1/2$
$100\text{m}^2 \leq A < 200\text{m}^2$	$s \leq 1/3$ 又は $s \leq 50\text{m}^2$
$200\text{m}^2 \leq A$	$s \leq 1/4$ 又は $s \leq 70\text{m}^2$

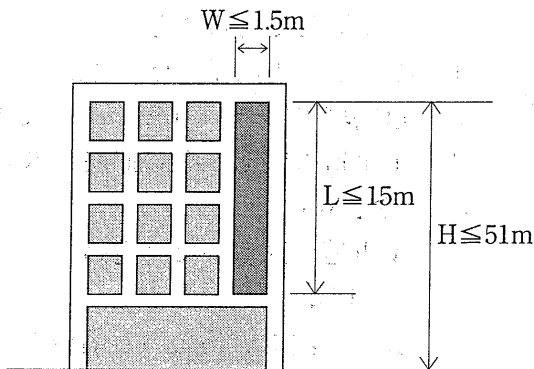
(A；1壁面面積，S；表示面積，s；利用割合 $S/A$ )

- ② 上端の高さ  $H \leq 51\text{m}$
- ③ 表示内容；意匠及び広告文が同一のものは、1壁面に1個
- ④ 表示方法；
  - 壁面の上端及び側端から突き出さないこと。
  - 窓その他の開口部をふさがらないこと。

※ 自家用で次の総てに該当するものは②の制限なし



(d) 壁面利用広告幕



- 壁面に文字、数字又は商標を縦3m以下の箱文字により表示していること。
- ネオン管を使用していないこと。
- 広告物の照明は、点滅しないこと。
- 高さの限度 (H = 51m) を超えて表示する広告物等が1壁面に1個であること。

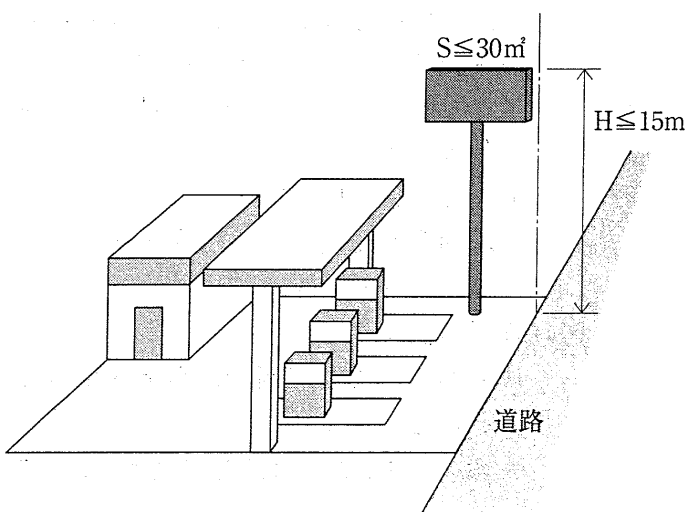
- ① 長さ  $L \leq 15m$  かつ 幅  $W \leq 1.5m$
- ② 表示内容等；意匠及び広告文が同一なものは、1壁面につき1個
- ③ 表示方法；壁面広告に同じ
  - 上端の高さ  $H \leq 51m$
  - 1壁面の利用割合限度

$A < 100m^2$	$s \leq 1/2$
$100m^2 \leq A < 200m^2$	$s \leq 1/3$ 又は $s \leq 50m^2$
$200m^2 \leq A$	$s \leq 1/4$ 又は $s \leq 70m^2$

(A；1壁面面積，S；表示面積，s；利用割合S/A)

(2) 建物敷地内広告物

(a) 広告塔・広告板



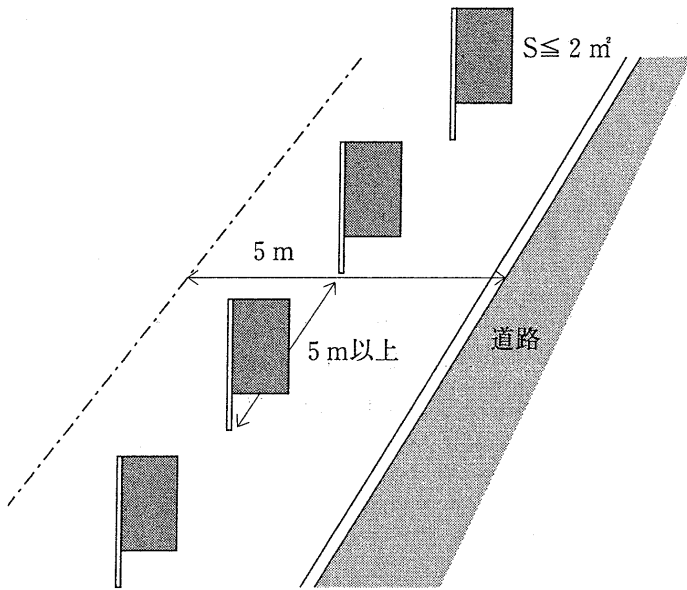
- ① 自家用広告物であること。
- ② 表示面積 (両面合計)  $S \leq 30m^2$  (1事業者等当たり)
- ③ 上端の高さ  $H \leq 15m$
- ④ 表示方法；道路上に突き出さないこと。

(b) 垣・塀への広告物

- ① 壁面の上端及び側端から突き出さないこと。
- ② 「壁面広告物の基準」を満たすこと。

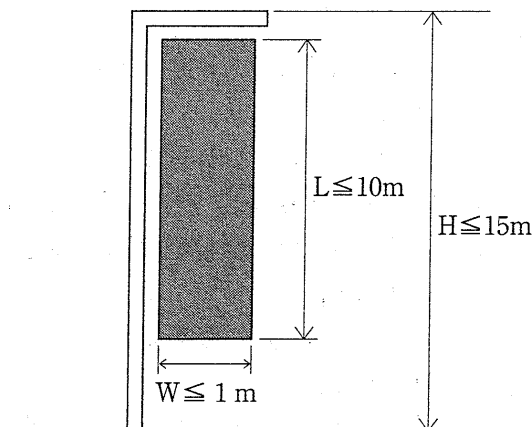
※注意；石垣，よう壁等は表示が禁止されている。ただし，自家用広告物の場合は一部認められる（参考P20）。

(c) のぼり，旗



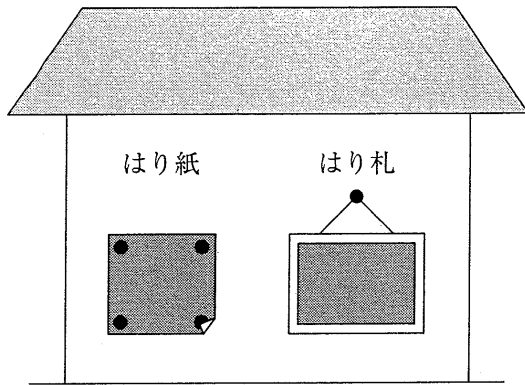
- ① 表示面積  $S \leq 2 \text{ m}^2$ （1本当たり）
- ② 設置場所；4本以上を道路の路肩から5m以内に設置する場合には，相互間隔を5m以上とすること。

(d) 広告幕（掲出装置利用）



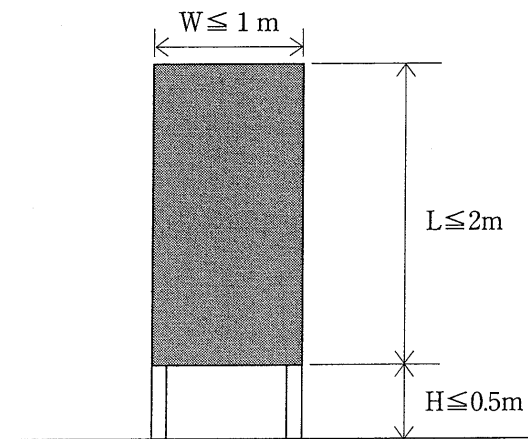
- ① 自家用広告物であること。
- ② 個数  $\leq 3$  個（1事業所当たり）
- ③ 長さ  $L \leq 10 \text{ m}$
- ④ 幅  $W \leq 1 \text{ m}$
- ⑤ 上端の高さ  $H \leq 15 \text{ m}$

(3) はり紙, はり札



- ① はり紙 表示面積 $\leq 1.5\text{m}^2$   
はり札 表示面積 $\leq 0.5\text{m}^2$
- ② 表示方法; はり紙は, 糊ばりしないこと。押しピン等でとめること。

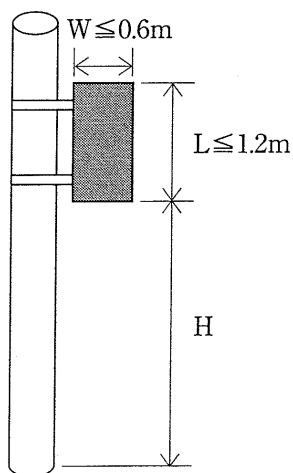
(4) 立看板



- ① 幅  $W \leq 1\text{m}$ , 長さ  $L \leq 2\text{m}$
- ② 脚部の高さ  $H \leq 0.5\text{m}$
- ③ 表示方法; 倒伏しないように固定すること。

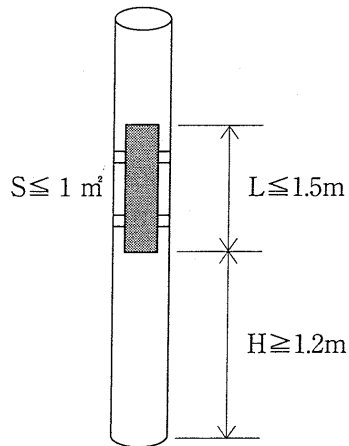
(5) 電柱類利用広告物

(a) 袖付け型広告物



- ① 国道, 県道及び市道上の電柱への取付けは禁止
- ② 個数; 1個 (1本当たり)
- ③ 幅  $W \leq 0.6\text{m}$ , 長さ  $L \leq 1.2\text{m}$
- ④ 歩車道の区別のある道路の歩道上  $H \geq 2.5\text{m}$   
歩車道の区別のない道路上  $H \geq 4.5\text{m}$
- ⑤ 車道上に突き出さないこと (歩車道の区別のある道路の場合)。

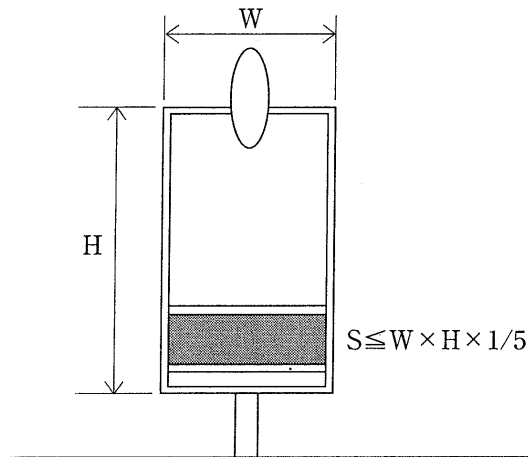
(b) 巻付け型広告物



- ① 国道，県道及び市道上の電柱への取付けは禁止
- ② 個数；1個（1本当たり）  
ただし，表示できる面積以内であれば，2個に分割し表示できる。
- ③ 表示面積  $S \leq 1 \text{ m}^2$
- ④ 長さ  $L \leq 1.5 \text{ m}$
- ⑤ 下端の高さ  $H \geq 1.2 \text{ m}$

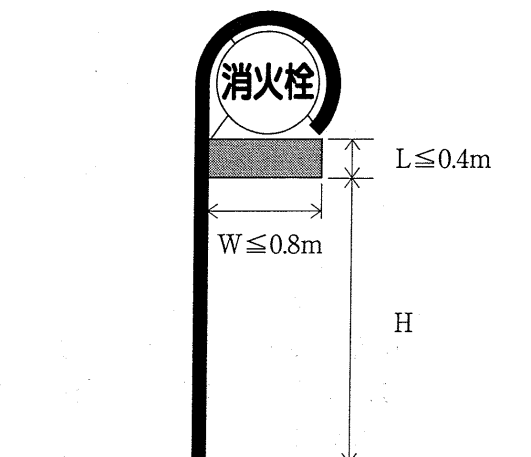
(6) 標識利用広告物

(a) 停留所標識の利用広告物



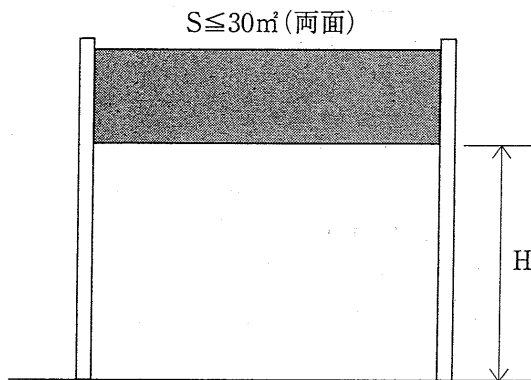
- ① 表示面積  $S \leq W \times H \times 1/5$
- ② 表示位置；進行車両から見えない面に表示のこと。

(b) 消火栓標識の利用広告物



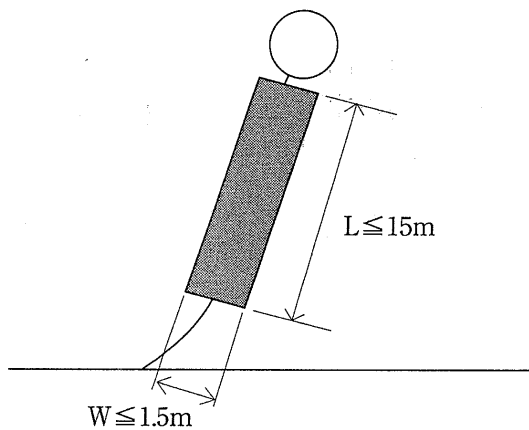
- ① 個数；1個
- ② 幅  $W \leq 0.8 \text{ m}$ ，長さ  $L \leq 0.4 \text{ m}$
- ③ 歩車道の区別のある道路の歩道上  $H \geq 2.5 \text{ m}$   
歩車道の区別のない道路上  $H \geq 4.5 \text{ m}$

(7) アーチ



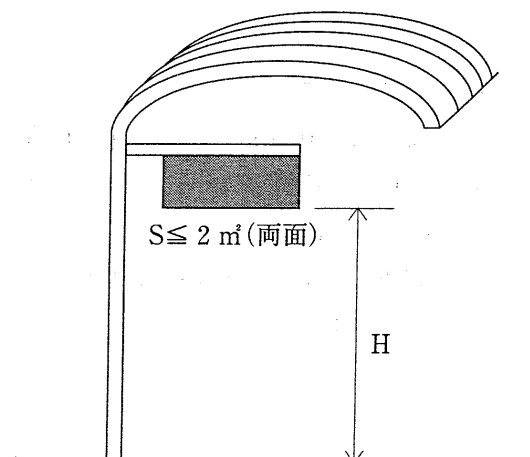
- ① 表示内容；町名，商店街名その他これらに類するものに限る。
- ② 車道幅員 < 9 m
- ③ 表示面積  $S \leq 30\text{m}^2$ （両面合計）
- ④ 車道上  $H \geq 5\text{ m}$   
歩道上  $H \geq 3.5\text{m}$

(8) アドバルーン



- ① 長さ  $L \leq 15\text{m}$
- ② 幅  $W \leq 1.5\text{m}$
- ③ 網に布片等で表示し主網に十分緊結すること。

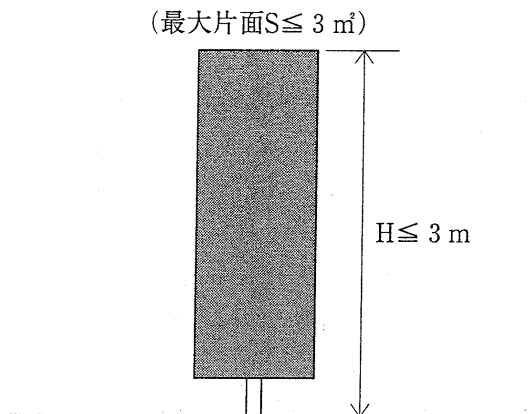
(9) アーケード利用広告物



- ① 統一看板に限る。
- ② 個数；1個（1店舗当たり）
- ③ 表示面積  $S \leq 2\text{ m}^2$ （両面合計）
- ④  $H \geq 2.5\text{m}$   
ただし，歩車道の区別のない道路上は  $H \geq 4.5\text{m}$
- ⑤ 表示方法；
  - 軒先には表示しない。
  - 歩道上のアーケードに添加する場合は，車道に面する側に表示したものでないこと。

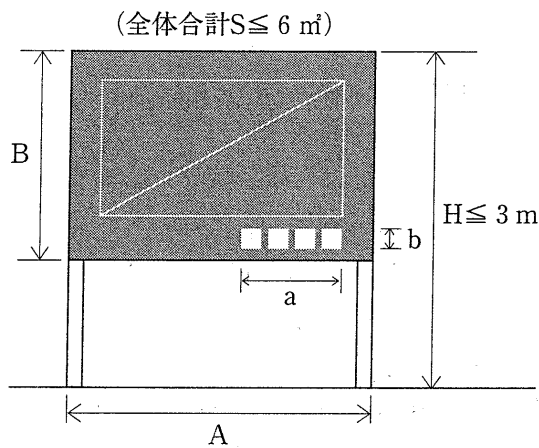
## (10) 道標, 案内図板等

## (a) 近隣店舗等の案内広告



- ① 表示内容；案内誘導のための必要最小限の事項であること（商品名は禁止）。
- ② 表示面積  $S \leq 3 \text{ m}^2$  (1 表示面当たり), かつ,  $\leq 6 \text{ m}^2$  (2 個以上は合計)
- ③ 上端の高さ  $H \leq 3 \text{ m}$
- ④ 形状；長方形
- ⑤ 表示方法；
  - ネオン管等は点滅しないこと。
  - 回転灯は禁止。

## (b) その他の道標, 案内板



- ① 表示内容；営利目的（商業広告等）でないこと。
- ② 表示面積  $S \leq 6 \text{ m}^2$  (2 個以上は合計)
- ③ 上端の高さ  $H \leq 3 \text{ m}$
- ④ 寄贈者名等の表示割合  
 $a \times b \leq A \times B \times 1/10$
- ⑤ 表示方法；
  - ネオン管等は点滅しないこと。
  - 回転灯は禁止。

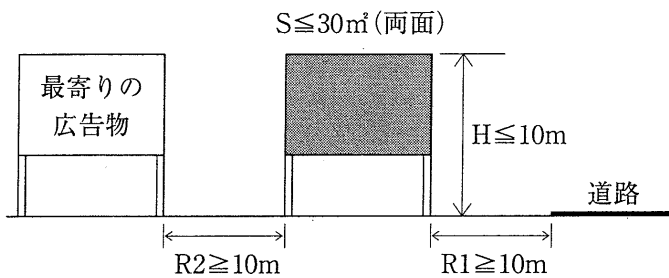


(11) 野立広告物

※ 「(2) 建物敷地内広告物 (a) 広告塔・広告板」(P4) 及び「(10) 道標, 案内図板等」(P9) 以外のものをいう。

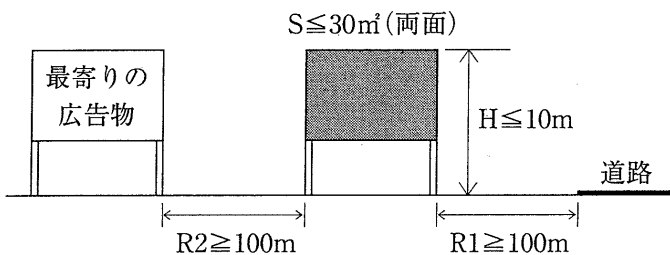
※ 禁止区域内での表示等は禁止する。

(a) 一般国道, 主要地方道, 松山環状線及び鉄道等の沿線 (市街化区域内)



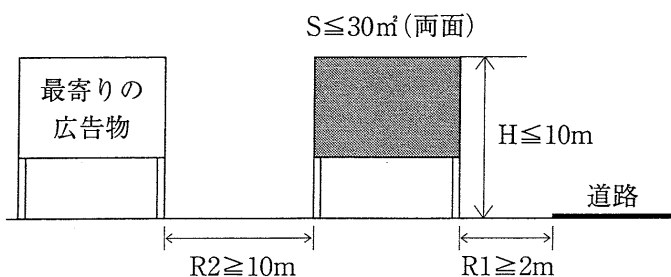
- ① 表示面積  $S \leq 30\text{m}^2$  (両面合計)
- ② 上端の高さ  $H \leq 10\text{m}$
- ③ 道路からの後退距離  $R1 \geq 10\text{m}$
- ④ 野立広告物相互距離  $R2 \geq 10\text{m}$
- ⑤ 表示方法；
  - ネオン管等は点滅しないこと。
  - 回転灯は禁止。

(b) 一般国道, 主要地方道, 松山環状線及び鉄道等の沿線 (市街化区域外)



- ① 表示面積  $S \leq 30\text{m}^2$  (両面合計)
- ② 上端の高さ  $H \leq 10\text{m}$
- ③ 道路からの後退距離  $R1 \geq 100\text{m}$
- ④ 野立広告物相互距離  $R2 \geq 100\text{m}$
- ⑤ 表示方法；
  - ネオン管等は点滅しないこと。
  - 回転灯は禁止。

(c) 上記 (a), (b) 以外の区域

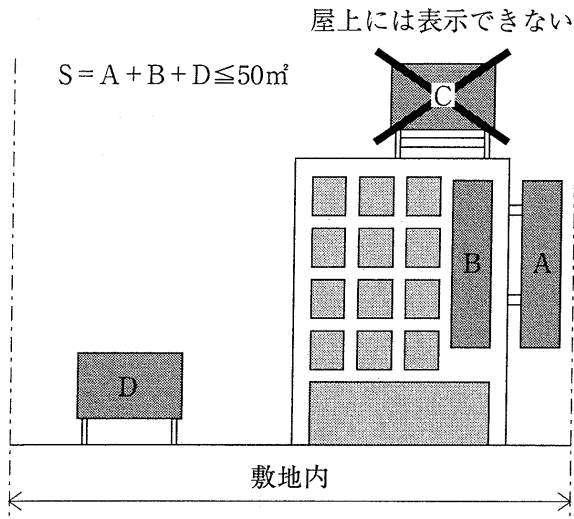


- ① 表示面積  $S \leq 30\text{m}^2$  (両面合計)
- ② 上端の高さ  $H \leq 10\text{m}$
- ③ 道路からの後退距離  $R1 \geq 2\text{m}$
- ④ 野立広告物相互距離  $R2 \geq 10\text{m}$
- ⑤ 表示方法；
  - ネオン管等は点滅しないこと。
  - 回転灯は禁止。

## I-3 禁止地域における許可の基準

## (1) 自家用広告物（別表3 第2の解説）

[ 条例第10条第3項第1号及び第14条第1項の基準 ]

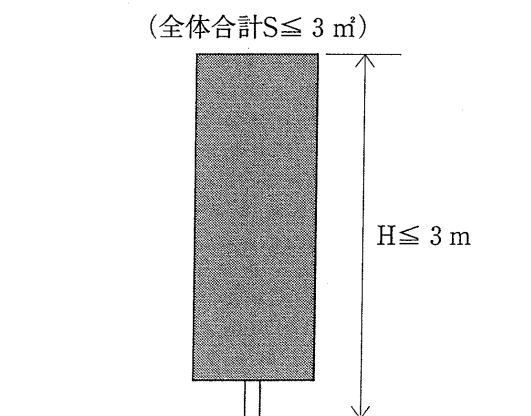


- ① 表示面積  $S = A + B + D \leq 50\text{m}^2$ （1事業所当たり）
- ② 屋上は表示禁止。
- ③ 敷地内に限る（道路等に突き出しは禁止）。
- ④ 色彩；
  - 地色には、けばけばしい色及び暗色を使用しない。
  - 表示面積の2分の1を超えてけばけばしい色を使用していないこと。
- ⑤ 表示方法；
  - ネオン管を使用していないこと。
  - 照明は、点滅しないこと。
  - 回転灯を使用していないこと。
- ⑥ 規則別表3第1（1 共通基準，2 個別基準）を満たすこと。

## (2) 道標，案内図板等（別表3 第3の解説）

[ 条例第10条第3項第2号及び第14条第1項の基準 ]

## (a) 近隣店舗等の案内広告



- ① 表示内容；案内誘導のための必要最小限の事項であること（商品名は禁止）。
- ② 表示面積  $S \leq 3\text{m}^2$ （2個以上は合計）
- ③ 上端の高さ  $H \leq 3\text{m}$
- ④ 形状；長方形
- ⑤ 色彩；
  - 地色には、けばけばしい色及び暗色を使用しない。
  - 表示面積の2分の1を超えてけばけばしい色を使用していないこと。
- ⑥ 表示方法；
  - ネオン管を使用しないこと。
  - 照明は、点滅しないこと。
  - 回転灯は禁止。
- ⑦ 規則別表3第1（1 共通基準，2 個別基準）を満たすこと。

